

A.出雲古代文化関係		
書籍名	発行年	収録内容
古代文化研究 第6号	98	【論文・報告書】「出雲大社の宝治・慶長・寛文度造営頃の境内建築の復元について」「前田遺跡出土琴の復元」「丹花庵古墳の測量調査」「齋淵寺境内銅造阿弥陀如来像について」「平成9年度島根県古代文化センター調査研究年報」「出雲国風土記註論その三」「風土記社参詣記その一」「島根県八東郡穴道町、大坪三家の系譜と人物略歴」「古代の出雲と宗像」「復活した大元神楽」「時憲歴の頒布と欽天監における西洋人官僚の登用について」「国引き神話の再検討」「国引き神話の史実を遡る」
古代文化研究 第7号	99	【論文・報告書】「出雲・猪目洞穴出土の骨角」「夏季特別展に関連する普及活動について」「明末における中国と太平洋ガレオン船貿易」「平成10年度調査研究年報」「『出雲国風土記』註論その四」「『風土記社参詣記』その二」
古代文化研究 第8号	00	【論文・報告書】「土器の色調と胎土分析」「General observations Do su ki kieu/Porcelain Made according to order and fixed patterns/during the Le-Trinh and the Nguyen periods」「山陰地方分銅形土製品集成」「島根県(出雲・石見・隠岐)古代史料目録Ⅱ」「『出雲国風土記』註論その五」「出雲と大原」「平成11年度調査研究年報・事業動向」
古代文化研究 第13号	05	【論文・報告書】「浜田市齋淵遺跡出土遺物」「古墳時代の垂飾付耳飾の復元技術について」「出雲地域における飛鳥・奈良時代集落について」「御柱祭の柱立と根園祭神立」「出雲の狛犬について(2)」「白石昭田氏を悼む」「墓上施設の現在」「天倫寺所蔵書面典籍類調査報告」「近世期石見銀山における生産資材の調達とそのシステム」「出雲国風土記写本の調査(2)」「古代出雲国『朝酌市』の景観について」「出雲風土記と水鳥」「平成16年度調査研究年報・事業動向」
古代文化研究 第14号	06	【論文・報告書】「山陰地方における墳墓出土土器の検討」「島根県かわらけ谷古墳から出土した金銅製双龍環頭大刀飾の鉛同位体比」「出雲市馬木町小坂古墳出土鍔手刀の再検討」「韓国における製鉄遺跡研究の現状と課題」「島根県松江市山津遺跡における花粉分析」「島根県東部における中世墓の様相」「狩猟採集民の精神と権力」「全国各地を廻遊する医者について」「中世・出雲国梓築の宗教者による政治経済活動」「岩屋寺日本尊十一面観音坐像」「古代祭祀空間関係史料集成」「出雲国風土記写本の調査(3)」「八世紀前期の郡司任用と『新造院』」「朝酌院の堂造について」「平成17年度調査研究年報・事業動向」
古代文化研究 第15号	07	【論文・報告書】「青銅器模倣品出土地集成」「島根県内玉作遺跡より出土する紅麻石片岩製内磨砥石の石材産出地の検討」「『出雲大社并神郷園』に用いた顔料について」「石西地域の二つの中世大般若経について」「出雲の狛犬について(3)」「入江文部の二枚紙の在仏留学生名簿』についての考察」「資料紹介『長征石見戦争簡書』」「天保五年当時の華道家『春林軒』における医学修業の実態について」「出雲国風土記写本の調査(4)」「『倭名類聚抄』所載『神祖(代)郷』についての一考察」「古代祭祀空間関係史料集成(2)」「天平年間成立当初の『出雲国風土記』について」「平成18年度調査研究年報・事業動向」
古代文化研究 第19号	11	【論文・報告書】「人間活動からみた島根県の縄文時代遺跡と地域社会」「美征論-倭国軍事考 第三章」「『出雲風土記』の里程と穴道郷三石記事に現れた『古韓尺』」「出雲市萩村古墓出土品の再検討」「伯耆における15世紀代の土師器皿」「島根・富田川河床遺跡の研究(4)」「旧阿部家住宅発見の『福面之図』」「和鋼博物館所蔵倭國」「有角石器出土地集成」「山陰から畿内への道(2)」「山口県阿武郡北東部の『石州舞』について」「資料調査 出雲国風土記写本の調査(8)」「松江藩立漢医学『存濟館』の医学教育カリキュラムについて」「賀茂別雷神社領石見国久永庄についての一考察」「平成22年度調査研究年報・事業動向」
古代文化研究 第20号	12	【論文・報告書】「鳥取県における縄文時代遺跡と遺跡群分析の一誌論」「松江市美保関町・小浜洞穴遺跡の出土遺物」「出雲平野における弥生時代後期の集落について」「松江市島田1号墳出土遺物の再整理(上)」「安来市新宮堂館跡出土の陶磁器」「『菟瀨譜録』所収島根県関係中世史料目録」「石見銀山絵巻」上野家本について(1)」「島根県穴道町役場日誌にみる空襲とその時代」「戦前期の伯耆大山におけるツルズル空間の生成」「小河内神楽考」「金屋子神社所蔵『鉱山係清浄簿』」「資料調査 出雲国風土記写本の調査(9)」
古代文化研究 第21号	13	【論文・報告書】「浜田市古市遺跡について(1)」「天然砥石の種類・産地推定法に関する一考察」「軍兵論-倭国軍事考 第四章」「『石見銀山絵巻』上野家本について(2)」「水門と潮一干拓以前の波根湖の環境誌にむけて」「鳥取県地方誌に見る空襲とその時代(島根県に関連して)」「大正期の石見における流通関係史料」「古代出雲西部の神社と交通」「神郡神戸と出雲大神宮・於友評」
古代文化研究 第22号	14	【論文・報告】「出雲地方における前期古墳について」「石見国那賀郡の近世末から近代のたたら製鉄」「天然砥石の種類・産地推定法に関する一考察」「華岡家門人錦織玄道が筆写した『華岡清洲先生 門人姓名録』について」「和鋼博物館所蔵大鍛冶関係資料の調査」「石見銀山「柵」内の推定復元」「湯を経営する」「島根県における空襲とその時代」「石見民衆の道中記」「史料紹介『梓築大社御本社御造営算用帳』」「賀茂別雷神社領石見国久永庄についての一考察(2)」「評制の史的前提と史的意義に関する覚書」「資料調査 出雲国風土記写本の調査(10)」「出雲国風土記写本二題」「平成25年度調査研究年報・事業動向」
しまねの古代文化 第20号	13	【講演録】第28回古代文化講座「本州西端域の縄文文化」 【講演録】第29回古代文化講座「旧石器人が恋した隠岐の黒曜石」
しまねの古代文化 第23号	16	【講演録】第11回隠岐国巡回講座「伝承された中世芸能 -美田八幡宮の田楽-」 【講演録】第5回石見国巡回講座「波根湖がうつつた近代 -汽水湖をめぐる暮らしと文化-」 【講演録】古代文化シンポジウム「中世益田平野の景観と益田氏」 平成27年度に行われた隠岐・石見に関する講座・シンポジウムを収録した記録集。
しまねの古代文化 第24号	17	【講演録】古代出雲文化シンポジウム「古代国家はいかにして成立したか-出雲と蝦夷・東国-」 【講演録】島根学講座in大阪第3講「後醍醐天皇の隠岐配流と日本海流通」 【講演録】第9回石見国巡回講座「喜阿弥焼の周辺-民衆と民芸運動」 平成28年度に開催したシンポジウム・講座を収録した記録集。
しまねの古代文化 第25号	18	【講演録】古代出雲文化シンポジウム「日本海交流と古代出雲」 【講演録】「石見の戦国武将」展開催記念講演会・石見国巡回講座「石見国家連合と大名たちの室町戦国時代史」 【講演録】「石見の戦国武将」展開催記念講演会・石見国巡回講座「益田家文書研究の可能性」 【講演録】第17回隠岐国巡回講座「宇屋だんじり舞のルーツと流入黒崎又五郎」 平成29年度に開催したシンポジウム・講座を収録した記録集。
しまねの古代文化 第26号	19	【講演録】出雲国風土記シンポジウム「神話で読みとく古代出雲」 【講演録】第15回石見国巡回講座「埴輪とは何か」 【講演録】第19回隠岐国巡回講座「黒木山横穴墓群からみた古代の隠岐と出雲・奈良」 平成30年度に開催したシンポジウム・講座を収録した記録集。
しまねの古代文化 第27号	20	【講演録】出雲国風土記連続講座「日本神話の受容と変容」,「風土記が語る大穴持命の故地」 【講演録】島根県古代文化講座「古墳時代における出雲と大和」 【講演録】石見国巡回講座「伝えられた祇園祭と鷲舞」 【講演録】隠岐国巡回講座「隠岐の絶からみた近世後期の俵物増産政策-「資源繁殖」の時代・前史-」 令和元年度に開催したシンポジウム・講座を収録した記録集。
しまねの古代文化 第28号	21	【講演録】島根県古代文化講座「古事記・日本書紀からみた出雲と大和」 【講演録】石見国巡回講座「瀧湖の役割からみた中世の浜田」 【講演録】隠岐国巡回講座「隠岐の津波-その痕跡と歴史」 令和元、2年度に開催したシンポジウム・講座を収録した記録集。

書籍名	発行年	収録内容
しまねの古代文化 第29号	22	【講演録】島根の歴史文化講座＋オンライン「〈出雲〉という思想～抹殺された出雲の神々～」 【講演録】島根の歴史文化講座＋オンライン「『出雲国風土記の神話と伝説』」 【講演録】島根の歴史文化講座＋オンライン「尼子氏の「御一家再興戦争と山中幸盛」」 【講演録】島根の歴史文化講座＋オンライン「石見の領主と戦国大名～益田氏らと毛利氏～」 【講演録】隠岐国巡回講座「こうして「知夫」が生まれた～古代の知夫郡に生きた人々～」 令和2年度に開催したシンポジウム・講座を収録した記録集。
しまねの古代文化 第30号	23	【講演録】島根の歴史文化講座＋オンライン「南北朝内乱と出雲国」 【講演録】シンポジウム「歴史を動かした石見の武将たち～吉見氏と益田氏」 【講演録】隠岐国巡回講座「隠岐の牛突き」 令和3年度に開催したシンポジウム・講座を収録した記録集。
しまねの古代文化 第31号	24	【講演録】島根の歴史文化講座＋オンライン「青銅器からみた島根の弥生時代」 【講演録】島根の歴史文化講座＋オンライン「寛文の出雲大社大造営と徳川幕府」 【講演録】石見国巡回講座「石見・安芸の中世の鉄生産」 【講演録】隠岐国巡回講座「隠岐の古代史～律令国家の「前線基地」～」 令和4年度に開催したシンポジウム・講座を収録した記録集。
古代文化叢書 5（朝山皓論集Ⅱ）	99	出雲国風土記研究、神社史などで優れた業績を残した朝山皓の論文集「出雲風土記の動物」等収録。付録「出雲国地図」。
古代文化叢書 6（朝山皓論集Ⅲ）	00	朝山皓の神在祭等祭礼や神葬祭について諸論文を収録。
出雲国風土記の研究 IV（資料編）	12	『出雲国風土記』に記された神門水海南辺地域の資料の集積。
山陰地方の縄文社会(CD版)	14	「山陰の縄文社会」印刷本の付録CD。内容は印刷本と同じです。
平塚運一古代瓦コレクション 資料集(1)	08	版画家・故平塚運一氏収集の古代瓦コレクションのうち、武蔵国分寺軒丸瓦の調査報告書。
平塚運一古代瓦コレクション 資料集(2)	11	平成11年に平塚氏の御遺族から寄贈等を受けた古代瓦コレクションのうち、武蔵国分寺関連の字瓦についての報告書。
出雲藍板締めへの復元研究	08	全国で唯一確認されている江戸時代後期の染色『出雲藍板締め』資料の特色と復元染色研究の成果をまとめた貴重本。
古代出雲ゼミナールⅦ	21	古代出雲ゼミナールシリーズの第7弾です。令和元年に東京で行われたシンポジウムの「出雲と大和」の内容を中心として、弥生時代から古墳時代にかけての出雲と大和をテーマとした講座の記録など、合計8本の論考を収録しています。

書籍名	発行年	収録内容
B.歴史の道関係		
歴史の道調査報告書 第5集 山陰道Ⅲ	97	近世の山陰道のルートの確定と街道周辺の文化財をまとめた秀作。
歴史の道調査報告書 第6集 津和野	98	津和野藩の参勤交代や領内の往来に使われた歴史の道について解説。
歴史の道調査報告書 第7集 隠岐	98	産業発展の基礎となった西廻り航路を解説。
歴史の道調査報告書 第8集 穴道・尾道	98	山陰と山陽を結び重要な役割を果たした穴道尾道街道を解説。
歴史の道調査報告書 補遺編	99	5年間の調査の集大成、その後の新知見を紹介。
C.八雲立つ風土記の丘周辺関係		
風土記の丘区内遺跡発掘調査報告書10	94	山代郡南新造院(四王寺)跡発掘調査報告。
史跡出雲国府跡 3	05	平成15・16年度の報告書。主要南北道路にかかる石積側溝と橋部材が発見されている。
史跡出雲国府跡 5	08	平成18年度の堂田地区の調査報告書。「十字街」から国府への進入路の想定線上で道路遺構が確認された。 また昭和43～45年度調査結果についても併せて収録している。
史跡出雲国府跡 6	09	史跡出雲国府跡宮の後地区、国司館の一角を調査。平安時代前期の建物跡、溝跡のほか、下層から性格不明の井桁状遺構を検出した。1968～1970年度調査、1972～1974年度環境整備事業の補遺と再検討をあわせて収録。
史跡出雲国府跡 7 附編 山代郷南新造院跡	11	国司館跡の一角で、井戸・溝が出土、山代郷南新造院の調査報告もあり。
埋蔵文化財発掘調査報告書 VII (石台遺跡)	88	昭和63年度に実施した石台遺跡調査の結果をとりまとめた報告書。
D.埋蔵文化財関係		
島根県遺跡地図 I (出雲・隠岐編)	93	遺跡地図。出雲・隠岐編。
主要地方道浜田八重可部線特殊改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	91	石見山間部の歴史を解明する上で重要な旧石器時代から江戸時代に及ぶ遺跡が検出された。
薄井原古墳調査報告	91	出雲を代表する片袖型横穴式石室2つを持つ大型古墳の調査報告。復刻版。
勝負遺跡・堂床古墳	98	遺物が多数出土した古墳時代中期の玉作工房跡を含む古墳時代前期から奈良・平安時代までの集落跡。
平ラⅡ遺跡・吉佐山根1号墳・穴神横穴墓群	98	石棺に描かれた彩色壁画は本州唯一の事例として注目される。
日脚遺跡	85	5世紀代の須恵器窯跡や縄文早期末の遺物・遺構を中心とした調査報告、石見地方の須恵器編年の指標。
岩屋遺跡・平床Ⅱ遺跡	01	6世紀の石棺出土人骨・導入期の横穴式の石室・奈良時代の平玉製作工房。
熊谷遺跡・要害遺跡	01	中期小型古墳(鎌・鏡)、丘陵を区画する弥生前期の溝、熊谷軍団推定地付近の調査、墨書土器出土。
布志名大谷Ⅰ遺跡 (1号墳)	01	古墳時代前期の大型方墳の調査、割竹形木棺ほか5つの埋葬施設。

書籍名	発行年	収録内容
布志名大谷Ⅲ遺跡	01	新発見の四隅突出型墳丘墓を含む墳墓群の調査。
石見焼関連遺跡調査報告1 (飯田A遺跡・長東坊師窯跡)	01	近世から近代の石見焼窯跡。
戸井谷尻遺跡・長老畑遺跡	01	18世紀前半の高殿たたらと19世紀前半の大鍛冶場。
古志本郷遺跡Ⅱ	01	出雲平野の弥生時代から近世までの大型複合遺跡。
石見銀山 妙正寺跡	01	近中世墓標・石塔の詳細調査。
殿淵山遺跡・獅子谷1	02	3時期に亘って営まれた近世の大鍛冶場跡、鞆の羽口が残る鍛冶場も発見。
大津町北遺跡・中野清水遺跡	04	弥生～奈良時代の遺構・遺物を発見 中野清水遺跡においては「塩冶」の墨書須恵器も発見。
五反配遺跡	04	古代出雲歴史博物館建設予定地における調査報告書。弥生から平安時代までの水田開発に関係する遺構、畦畔などを検出。
沖手遺跡	06	中世の集落跡。貿易陶磁・土師器・瓦質土器などが出土。
白枝本郷遺跡・中野清水遺跡(3)	06	弥生時代後期末～古墳時代前期初土器大量出土。奈良時代金属器生産関係遺物。室町時代～江戸時代初めの集落跡。
沖手遺跡・専光寺脇遺跡	08	貿易陶磁を多量に出土した中世の益田平野の大規模集落。(建物跡・墓地などを多数検出)
中祖遺跡・ナメラ迫遺跡	08	奈良・平安時代の礎石建造跡を検出。瓦の分析から熨斗瓦建物であることがあきらかになった。
山持遺跡Vol. 5(6区)	09	縄文時代～江戸時代までの遺物が発見された遺跡。そのうち古代の道路遺構周辺からは、全国的にも類例のない人物像を描いた板絵4点、木簡3点、墨書土器10数点が出土している。特に4号板絵は吉祥天を描いたものと考えられる仏画であり、当時の仏教祭祀の様子を知る上で貴重な資料である。
六重城南遺跡 瀧坂遺跡 鉄穴内遺跡	09	雲南市三刀屋町六重地区に所在する鉄文化に深く関わる遺跡群。六重城南遺跡では特異な鉄製品を周溝に供献した古墳を検出。瀧坂遺跡は古代の製鉄関連遺構と近世以降の屋敷跡。鉄穴内遺跡は古代の鍛冶遺跡で、鍛冶工房3軒と鍛冶炉10基、拝津場2か所、炭窯などが見つかるとともに、多種多様な鍛冶関連遺物が大量に出土。
久城東遺跡・若葉台遺跡・ 久城西Ⅰ遺跡・久城西Ⅱ遺跡・ 原浜遺跡	10	益田平野東に広がる久城台地の遺跡群の調査報告。弥生時代・古墳時代の集落を中心とし、石西地域の土師器編年、益田平野をめぐる人間活動の歴史についての論考も所載。
山持遺跡7(6区)	11	朝鮮半島系の楽浪土器がほぼ完形で出土した遺跡の報告書。
高浜Ⅰ遺跡	11	木簡とともに15世紀中葉から16世紀初頭の将棋盤が出土。
廟所古墳・古曾志大塚古墳群・ 平廻古墳	12	一辺60mを超える大型方墳の調査報告書。
金山古墳・鶴ノ鼻古墳群・北 長横穴墓	15	益田平野に所在する重要古墳を対象に行った調査報告。石見地方の古墳時代研究に欠かせない基礎資料を多数掲載。金山古墳は5世紀の造り出し付き円墳と判明した発掘成果を収録。石見最大級の群集墳である鶴ノ鼻古墳群について全体測量図を初公開。前方後円墳を含む当古墳群の益田平野における位置づけ等に迫る。石見を代表する横穴墓群「北長迫横穴墓群」の出土土器について未公開資料を含めて掲載。須恵器の精緻な分析をもとに、当横穴墓群の変遷と特徴について考察。
魚見塚古墳・東淵寺古墳	16	出雲を代表する2基の前方後円墳の調査報告。出雲の古墳時代須恵器編年に関する考察と、墳形や埴輪・須恵器からみた両古墳の歴史的な位置づけに関する考察を収録。
富田川河床遺跡の研究	24	昭和に行われた富田川河床遺跡6次調査の成果をとりまとめたもの。16世紀中葉から17世紀初頭までの、大量の国産・中国産・朝鮮半島産の陶磁器が出土しており、当時の富田川城下町における交流の一端を知ることができる。石見銀山ほかで作られた切銀4点の出土も報告。

書籍名	発行年	収録内容
E.文化財一般・その他		
石見神楽の創造性に関する研究 (古代文化センター研究論集 第12集)	14	県西部に継承される石見神楽に関する論文集。石見神楽の歴史的な展開と今日的な状況について、8本の論文を収録。
隠岐の祭礼と芸能に関する研究 (古代文化センター研究論集 第20集)	18	隠岐国分寺蓮華会舞や隠岐神楽、田楽、牛突きなど、特色ある隠岐の祭礼・芸能にスポットを当て、その歴史と現状、さらには西日本の島々における伝承形態の比較など、様々な角度から考察した論文集。
山陰弥生文化の形成過程 (古代文化センター研究論集 第25集)	21	山陰地域でいつ頃、どのようにして弥生文化＝稲作を基盤とする文化がはじまったのかについて、土器・集落・墓・農耕の様相や交流のありかたから総合的に論じた研究報告書。14本の論文を掲載しています。A4判本文370頁。
出雲神楽の研究(古代文化センター研究論集 第29集)	23	国家の成り立ちにおいて重要な位置を占める、伊勢神宮・出雲大社が鎮座する両地域について、古墳時代から近代の宗教思想まで、それぞれの特質や両者の比較分析をおこなった13本の論文を収録。
古代隠岐の形成と特質(古代文化センター研究論集 第32集)	24	日本海側の離島で、海産物貢納の地域と位置づけられた隠岐地域について、古墳時代～奈良・平安時代にかけての、本土との交通・官衙や氏族などを検討。厄寺原遺跡・甲ノ原遺跡・玉若酢神社境内遺跡ほか、重要考古資料の調査成果も掲載する。
季刊 文化財(定期刊行物)		(定期刊行物)